



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー 会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
2690地区ガバナー / 伊藤 文利 幹事 / 堀江 卓男 会計 / 槇野 良文

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
9月 8日	会員増強・R財団委員長	地区 会員増強・R財団 合同セミナー報告
9月 15日	JAIずも 常務理事 岡田達文 様	出雲市の農業の現状
9月 22日	日産 新車担当課長 長子 淳一様 日産リーフ認定整備士 打田 卓也様	電気自動車について

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
38	25	13(6)	78.13%	90.91%

欠席者

遠藤 / 木村 / 園山 / 来間 / 大谷 / 飯塚大 / 杉原朋
(石原恵 / 山根 / 牧野 / 杉原邦 / 原光 / 田中久)

来訪者

なし

メイクアップ

8/31 遠藤・原泰・大島卓・高砂・河原(大社)
9/1 清原(松江東)

次回例会受付当番

(9月15日) 原 光栄 / 加藤喜久 / 木村文彦

(9月22日) 原 泰久 / 黒田昌弘 / 来間 久

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	9/26	10/17	10/24(休)	松江南
火	出雲				松江しんじ湖
水	大社	9/14			松江
木					松江東 9/1 9/22(休) 10/13
金	出雲南				

会長挨拶

先般行ないましたクイーンズマリーでの納涼会は、会員様はもとより会員夫人、会員のお子様方、多数出席頂きまして本当にありがとうございました。本年“ロータリーを楽しもう”のスローガンのもと、会員そして家族の皆様様のロータリーの輪が少しでも大きくなったような気が致します。

又、今月4日倉吉にて会員増強、ロータリー財団委員会の合同セミナーには、私、黒田副会長、堀江幹事の3人で参加致しました。

先般の東日本大震災に続き、台風12号も中国地方、近畿地方(和歌山・三重等)等々またも鋭い爪あとを残しました。暗い日本ではなく“ガンパロウ日本”をめざして、日本のそして私達の地域社会を強い絆で一緒に頑張っていきたいものです。

9月7日ホテル一畑に於いて島根繊維会館創立65周年記念講演にて、テレビでおなじみの辛坊治郎氏の「政治と経済 情報のウラを読む」のテーマで後援会がありました。先般行なわれた民主党の代表選のウラ話とか、菅、鳩山、麻生、安部の4人の総理大臣の人物評、等々生々しく又おもしろく普段聞かれない内輪話に約1時間の時間があつと言うに

過ぎた講演会でした。

スマイル

恒松 (8月24日東京RC例会でメークアップしました。9月4日は倉吉での増強・財団のセミナーに黒田次年度会長に財団部門で出席して頂きました。)

高砂 (東京RC恒松会員と一緒にメークアップしました。)

田中浩 (一畑の杜コンサートにお誘い合わせご来場下さい。)

飯塚大 (本日の例会は、お寺の行事「ようかさん」で失礼致します。明後日10日18時30分から一畑寺の観音堂で尺八演奏会「月とだんごと竹の音」を開催することになりました。ご案内申し上げます。)

釜屋 (この夏を無事に過ごすことができました。)

委員会報告

< 出席親睦 > 会員誕生お祝い



スピーチ・例会行事

地区会員増強・R財団合同セミナー報告

「会員増強部門」

会 長 飯塚詔夫

9月4日(日)倉吉に於いて会員増強セミナーが開かれました。講演には、中村靖治氏の「善き仲間たちと共に」のテーマにてお話をされました。

7月現在で日本のRC会員数89,545名 2690地区 3,063名

日本RC平均会員数(1クラブ) 39名 2690地区(1クラブ) 47名

1. ロータリアンの第一歩は、例会に出席し楽しむことである。

1. 入会の若い会員を委員長へ ベテランが補佐する プロジェクトの成功を側面から援助

1. 全員野球で会員増強をはかる

1. 入会する見込みのある人とその回りにいる友人も一緒に入会してもらう

裏面へ つづきます

「ロータリー-財団部門」

次年度会長 黒田昌弘

「未来の夢計画」の平田口 - タリ - の計画について(2012～2013年度)

ロータリー - 財団が2017年(平成29年度)に創立100年を迎えることを踏まえ、委員会は、財団が奉仕の第二世紀に移行するための計画「未来の夢計画」の立案をした。

この計画は、財団の使命を新たにするとともに、ロータリアンが、多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらし、持続可能な成果を生み出すことができるよう、一層効果的で効率のよい支援方法である。

未来の夢計画の新補助金構成は、財団への寄付を最大限に生かすことを目指している。

これにより、クラブと地区は、長きにわたって大きな影響を与えていくような柔軟性のあるプロジェクトに資金を生かすことができる。

よって、2010年(平成22年)に未来の夢計画のパイロットが開始し、2012年(平成24年)には、未来の夢計画全世界地区にて実施する予定である。

新地区補助金の2690地区の申請件数は、小林ガバナ - 年度で35件、伊藤ガバナ - 年度で40件である。申請等の内容は、小林・伊藤ガバナ - 両年度の場合、環境保全・体験学習が全体の49%、物品等贈与が全体の28%、その他講演会・公演・コンサート等である。環境保全等の寄贈の内容は、植樹・清掃活動等が主であり、また、社会団体への寄贈内容は、安全性の整備・書籍教育機器等・施設整備品の充実等が主な活動である。

なお、これからの、平田口 - タリ - の新地区補助金の事業を実施した場合の取組について、新地区補助金の申請は、2012年3月31日が締切である。承認された場合には、2012年7月1日に承認行動及び事業開始するとともに、2013年2月28日に実施報告書の提出・報告が締切である。

今後、平田ロータリー - がどのような活動等の新地区補助金を申請するかは、2012～2013年度の役員で決定しなければならぬので、ロータリー - 財団委員長を中心とした委員会で2011年の12月末までに(案)を作成するとともに、理事会の承認及び会員の承認を得ていく計画である。